



環境活動レポート

活動期間：2016年4月1日～2017年3月31日



丸長鍍金株式会社
(第6版：2017年05月12日作成)

目次

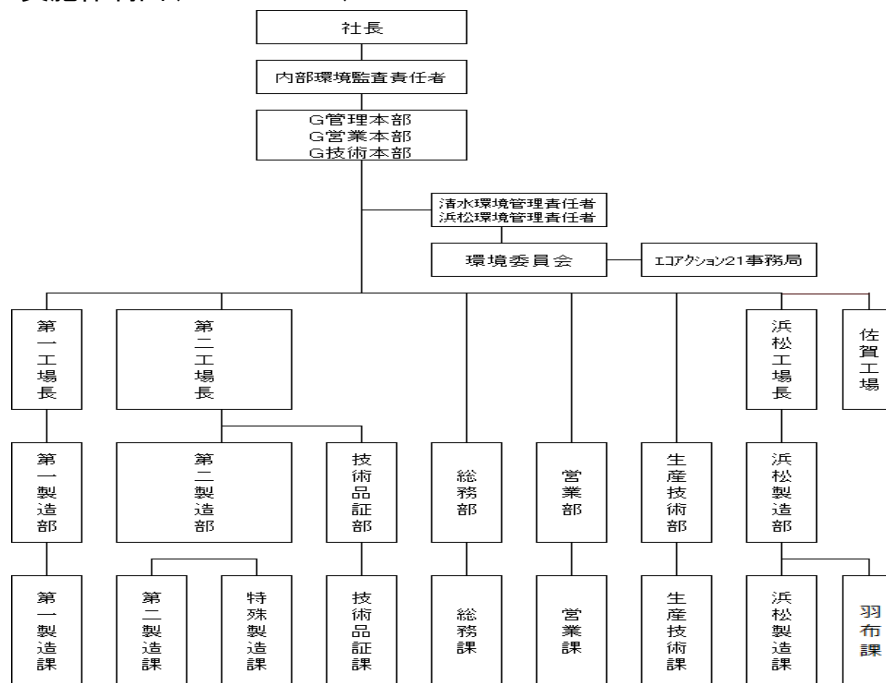
1. 事業の概要	3
2. 環境方針	5
3. 環境目標とその実績	6
4. 主要な環境活動計画の内容 EA21認証取得後の省エネ投資等の実績	8
5. 環境活動の取組結果の評価	11
6. 次年度の取組内容	13
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	15
8. 代表者による全体の評価と見直し	19

1. 事業の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
丸長鍍金株式会社
代表取締役 久慈直太郎
- (2) 所在地
本社・清水工場
〒424-0046 静岡市清水区西大曲町12番3号(代表住所)
TEL 054-366-336 FAX 054-365-3261
URL <http://www.marcho-g.co.jp>
浜松工場
〒435-0022 浜松市南区鶴見町1420
TEL 053-581-907 FAX 053-581-9071
佐賀工場
〒840-0854 佐賀市鍋田町八戸3040-1
TEL 0952-97-8428 FAX 0952-97-8429
- (3) 環境管理責任者・担当者の氏名と連絡先
環境管理責任者(統括) 古本 修一 komo@marcho.com
担当者 岡村 剛典 okamura@marcho.com
連絡先: TEL:054-366-3361 FAX:054-365-3261
環境管理責任者(浜松) 和久田純男
担当者 林雅人
連絡先: TEL:054-581-9070 FAX:053-581-9071
- (4) 事業内容及び認証登録範囲
自動車部品・電子部品の一般電気めっき、無電解めっき及び電鍍めっきの加工
- (5) 事業規模
設立 1950年設立
資本金 1,000万円
従業員数 :107名(常勤役員・従業員)
:23名(パートタイマー・アルバイトなど:延べ人員に調整、変動あり)
敷地面積 :3274㎡(清水工場) :4490.76㎡(浜松工場) 1156㎡(佐賀工場)
延床面積 :2770㎡(清水工場) :2917㎡(浜松工場) 165㎡(佐賀工場)
- (6) 事業沿革
- | | | |
|-------|---------|-----------------------------------|
| 昭和25年 | (1950年) | 清水市東大曲町7-21において創業 |
| 昭和28年 | (1953年) | 浜松市中島町459に浜松工場新設 |
| 昭和43年 | (1968年) | 株式会社となる。代表取締役に久慈直忠就任 |
| 昭和45年 | (1970年) | 清水市西大曲町12-3に第一工場建設 |
| 昭和60年 | (1985年) | 清水市東大曲町7-21に事務所、工場増築 |
| 平成10年 | (1998年) | 久慈直忠、代表取締役会長就任
久慈直太郎、代表取締役社長就任 |
| 平成16年 | (2004年) | ISO9001:2000取得・その後ISO9001:2008に移行 |
| 平成18年 | (2006年) | 静岡市清水区西大曲町12-3に新社屋建 |
| 平成23年 | (2011年) | エコアクション21 取得 |
| 平成25年 | (2013年) | 浜松市鶴見町1420に浜松工場新設 (旧浜松工場閉鎖) |

(7) 環境活動組織

1.実施体制図(2016.06.01～)



2016.06.01

2.各自の役割・責任及び権限

①社長

- ・ 環境方針の決定並びに見直し
- ・ 環境管理責任者の任命
- ・ 環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの承認並びに見直し指示
- ・ 環境目標と環境活動計画の承認
- ・ 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源の準備
- ・ 緊急事態発生時の統括
- ・ 内部環境監査員の選任、内部監査実施の指示と結果の確認
- ・ 代表者による全体の評価と見直し

②内部環境監査員

- ・ 内部監査の実施と報告
- ・ 監査内容の守秘義務

③環境管理責任者(次の事項に定められた役割・責任及び権限を、他の責任にかかわりなくもつ)

(浜松環境管理責任者は、環境管理責任者の指示のもと、浜松工場に関する下記の役割の一部を実施する)

- ・ 環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・ 環境方針、環境目標、環境活動計画の立案
- ・ 環境活動計画の推進状況把握と社長への報告
- ・ 該当環境関連法規等の把握と管理
- ・ 環境経営システムに関する規定類の整備
- ・ 環境関連教育、計画、訓練の実施
- ・ 緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・ 問題点発生に対する是正及び予防処置の対応指導
- ・ 社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供
- ・ 内部環境監査員の教育、内部環境監査計画の作成

④事務局

- ・ 環境委員会の開催及び運営
- ・ 環境管理責任者の補佐
- ・ 文書記録作成

⑤各部門管理者

- ・ 環境活動計画の推進

⑥環境委員会

- ・ 各部署の取り組み状況をチェックし、環境目標の達成に向けて従業員を指導
- ・ 各部署の環境負荷実績等を記録し取りまとめて、事務局に報告

2.環境方針

環 境 方 針

基 本 理 念

丸長鍍金株式会社は、深刻化する地球温暖化への対応や、有限な資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。また、環境への適切な対応が企業の社会的責任であると認識しています。

めっき加工事業を通して、地球及び地域環境の保全、循環型社会の形成、資源の保護及び 汚染の予防に、全従業員で自主的、積極的に取り組みます。

行 動 指 針

1. 環境経営に積極的に取り組むために、環境経営マニュアルを策定し、環境への取り組みを継続的に進め、事業者の責務を体系的に遂行するシステムを構築します。
2. 環境への取り組みとして、次のことを環境目標にして取り組みます。
 - 1) 二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー・省資源の推進)
 - 2) 廃棄物の削減、分別、リサイクルの推進
 - 3) 排水量削減の推進
 - 4) 化学物質使用量削減の推進
 - 5) グリーン購入の推進
 - 6) 環境に有益で、“やりたい”環境目標をみつけ、取り組みます。
3. 『環境にやさしい工場づくり』を推進していきます。
4. 環境関連法規制等の遵守に努めます。
5. 従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境経営マニュアル、環境目標と活動計画、環境関連法規制等の教育・訓練、及び啓発活動の実施により、環境保全に関する意識の向上と活動推進に努めます。

2011年6月1日 制定
2016年6月1日 改訂

丸長鍍金株式会社

代表取締役 **久慈直太郎**

3. 環境目標とその実績

(1) 清水工場 実績及び中長期目標(生産量100万個当たりの指標)

環境目標項目		単位	推進部門 又は 推進担当者	基準値	目標値	2016年度 (4~3月)		2017年度 (4~3月)		2018年度 (4~3月)	
				2014年度 (4~3月)	実績値						
大項目	二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)注1,2	Kg-CO2	総務課	1,261,188	実績値	1,315,575		-		-	
		Kg-CO2/ 生産量100万個	総務課	40,203	目標値	39,398	2% ↓	38,996	3% ↓	38,594	4% ↓
					実績値	22,974	42% ↓	-	-	-	-
中項目	電力消費量の削減	KWH/ 生産量100万個	総務課	58,218	目標値	57,053	2% ↓	56,471	3% ↓	55,889	4% ↓
					実績値	33,332	41% ↓	-	-	-	-
	化石燃料消費量の削減	L/ 生産量100万個	総務課	959	目標値	939	2% ↓	930	3% ↓	920	4% ↓
					実績値	335	65% ↓	-	-	-	-
	都市ガス消費量の削減	m ³ / 生産量100万個	総務課	3,407	目標値	3,338	2% ↓	3,305	3% ↓	3,270	4% ↓
					実績値	2,408	28% ↓	-	-	-	-
大項目: 廃棄物排出量削減											
具体的手段	廃プラのリサイクル (専門業者買取)	実績値	第1・2製造課	-	目標値	-	-	-	-	-	-
					実績値	実施日2016.11 ¥6,054(浜松含む)		-	-	-	
大項目: 排水量削減											
具体的手段	上水使用量削減	m ³ / 生産量100万個	第1・2製造課	427	目標値	418	2% ↓	414	3% ↓	409	4% ↓
					実績値	528	26% ↑	-	-	-	-
大項目: 化学物質使用量削減											
具体的手段	無水クロム酸使用量削減	kg/N社 生産量100万個	第2製造課	67.8	目標値	66.4	2% ↓	65.7	3% ↓	65.0	4% ↓
					実績値	71.6	8% ↑	-	-	-	-
大項目: グリーン購入の推進											
具体的手段	事務用品の回収・再利用	項目	技術品証課	12回	目標値	1回/月		1回/月		1回/月	
					実績値	1回/月		-		-	
大項目: 独自の環境目標											
具体的手段	めっき槽の蒸発防止対策	実績値	第1・2製造課	-	目標値	-	-	-	-	-	-
				-	実績値	蓋設置		-	-	-	
生産量・個数		100万個	-	49.3	-	58.4		-	-	-	-

注1: 二酸化炭素排出量は、電力、石油、都市ガス等の合計をKg-CO2で表記する。

注2: 電力実排出係数(中部電力); H2013年度実排出係数 0.513kg-CO2/KWH

注3: 佐賀工場の電気・水等の環境負荷がわずかな為、実績把握のみに留め改善活動は行っていません

(2)浜松工場 実績及び中長期目標(売上高100万円当たりの指標)

環境目標項目		単位	推進部門 又は 推進担当者	基準値	目標値	2016年度 (4~3月)		2017年度 (4~3月)		2018年度 (4~3月)	
				2014年度 (4~3月)	実績値						
大項目	二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)注1,2	Kg-CO2 (実績)	浜松製造課	755888	実績値	988,971		-		-	
		Kg-CO2/ 売上高M¥	浜松製造課	1641	目標値	1,609	2% ↓	1,591	3% ↓	1,575	4% ↓
					実績値	1,809	12% ↑	-	-	-	-
中項目	電力消費量の削減	KWH/ 売上高M¥	浜松製造課	1862	目標値	1,825	2% ↓	1,806	3% ↓	1,787	4% ↓
					実績値	2,380	30% ↑	-	-	-	-
	化石燃料消費量の削減	L/ 売上高M¥	浜松製造課	24.5	目標値	23.9	2% ↓	23.7	3% ↓	23.5	4% ↓
					実績値	45.2	89% ↑	-	-	-	-
	都市ガス消費量の削減	m ³ / 売上高M¥	浜松製造課	229	目標値	223	2% ↓	222	3% ↓	219	4% ↓
					実績値	231	0.4% ↑	-	-	-	-
大項目:廃棄物排出量削減											
具体的 手段	廃プラのリサイクル (専門業者買取)	実績値	浜松製造課	-	目標値	-					
					実績値	¥6,054(清水含む)		-		-	
大項目:排水量削減											
具体的 手段	井水使用量削減	m ³ / 売上高M¥	浜松製造課	66	目標値	65	2% ↓	64	3% ↓	63	4% ↓
					実績値	52.5	19% ↓	-	-	-	-
大項目:化学物質使用量削減											
具体的 手段	電解剥離の活用 (剥離用硝酸削減)	L/ 売上高M¥	浜松製造課	4.24	目標値	4.16	2% ↓	4.11	3% ↓	4.07	4% ↓
					実績値	0.00	100% ↓	-	-	-	-
大項目:グリーン購入の推進											
具体的 手段	不用品の回収・再利用	-	浜松製造課	-	目標値	-		1回/月		1回/月	
					実績値	月初め回収		-		-	
	事務用品のグリーン調達 の購入	項目	浜松製造課	10	目標値	11		12		13	
					実績値	11		-		-	
大項目:独自の環境目標											
具体的 手段	動線を重視した レイアウト変更	レイアウト 変更回数	浜松製造課	1	目標値	1		1		1	
					実績値	小糸製品番地化		番地化		-	
売上高 (実績値)		M¥	-	460.5	-	660.0		-		-	

注1: 二酸化炭素排出量は、電力、石油、都市ガス等の合計をKg-Co2で表記する。

注2: 電力実排出係数(中部電力) :2013年度実排出係数 0.513kg-CO2/KWH

4 主要な環境活動計画の内容(清水工場)

環境目標・環境活動計画の項目と具体的手段		推進部門又 推進担当者	-	年間 ベース	2016年度												注3	
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価	
大項目	A.二酸化炭素排出削減 (kg-CO2/100万個)	全清水	目標値	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	39,398	-	
			実績値	22,974	31,447	26,375	22,229	22,307	26,372	20,764	19,888	21,191	23,270	21,607	22,373	17,869	◎	
中項目	A-1.電力消費量の削減 (使用量KWH/生産量100万個)(月毎の目標値)	全清水	目標値	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	57,053	-	
			実績値	33,332	45,195	38,294	30,819	32,421	41,187	29,791	29,286	30,581	34,040	30,661	32,580	25,130	◎	
具体的 手段	1.デマンドコントローラーにて、2工場の電力使用量を測定・削減管理	製造課	第1最大電力	241.6	210.2	230	230.6	236.2	233.6	229.6	210.6	227.2	225.6	241.6	234	222.2	△	
			第2最大電力	179.4	157.6	151	162.6	172.8	176	167.4	166	158	162.6	167	165.4	179.4	△	
中項目	A-2.化石燃料消費量の削減(使用量L/生産量100万個)	全清水	目標値	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	-	
			実績値	335	709	398	373	363	347	279	207	292	292	279	259	223	◎	
具体的 手段	2.近場の交通手段に自転車を活用	全清水	実績値	3.8回	2回	4回	4回	6回	2回	5回	8回	3回	4回	2回	3回	3回	△	
中項目	A-3.都市ガス消費量の削減(月毎の目標値)(m³/100万個)	第1製造課	目標値	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	3,338	-	
			実績値	2,408	3,085	2,730	2,614	2,270	2,241	2,270	2,064	2,266	2,421	2,458	2,378	2,097	◎	
具体的 手段	3.ボイラー運転時間の調整	第1製造課	実績値	-	液温が上昇・安定したら2基稼働から1基稼働に												○	
大項目	B.廃棄物排出量削減	全清水	-	-	-												-	
具体的 手段	4.廃プラのリサイクル(専門業者買取)	全清水	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	業者選定	宮原	-	-	-	-	○
大項目	C.排水量削減	-	-	-	-												-	
具体的 手段	5.上水使用量削減m3/100万個	全清水	目標値	418	418	418	418	418	418	418	418	418	418	418	418	418	-	
			実績値	528	331	403	337	355	821	921	-	-	-	-	-	-	△	
大項目	D.化学物質使用量削減	-	-	-	-												-	
具体的 手段	6.無水クロム酸使用量削減(Kg/N社生産量100万個) (治具形状変更による次工程への液の持ち出し削減)	硬質クロム	目標値	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	66.4	-
			実績値	71.6	116.4	54.7	87.6	95.2	68.9	80.8	72.6	46.5	48.2	51.1	70.9	66.6	66.6	△
大項目	E.グリーン購入の推進	-	-	-	-												-	
具体的 手段	7.不用品の回収・再利用(共用品置場にて管理・自由に使用可能)	全清水	実績値	実績で評価	-	-	-	-	第1工場 中2階 置 場	-	-	-	-	整理・整頓	-	-	-	
			実績値	実績で評価	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収
大項目	F.独自の環境目標	-	-	-	-												-	
具体的 手段	9.作業環境の改善(ラインの配置に合わせ材料置場等レイアウト)	全清水	実績値	実績で評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	錫2nd 配置替え	超音波脱脂 移動検討	△
			実績値	実績で評価	調査	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	無電解蓋	-	アルミライン 蓋	-
具体的 手段	10.めっき槽の蒸発防止対策実施(保温カバー・ポール)	全清水	実績値	実績で評価	調査	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
生産量(100万個)		基準年度	-	49.3	-												-	
		今年度	-	58.4	3.65	3.87	4.85	4.99	3.99	4.95	5.51	5.38	4.67	4.89	5.29	6.38	-	

注3:環境活動評価表の年度末評価をまとめて記号で表記する。達成は、◎ ほぼ達成は、○ 未達は、△ 印で表記する。

4 主要な環境活動計画の内容(浜松工場)

環境目標・環境活動計画の項目と具体的手段		推進部門 又推進担当者	-	年間 ベース	2016年度												注3
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末評価
大項目	A.二酸化炭素排出削減(1%減) (kg-CO2/売上高M¥)	-	目標値	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	1,609	-
			実績値	1,809	1,862	1,965	1,845	1,871	1,952	1,495	1,740	1,587	1,720	1,956	2,049	1,665	△
中項目	A-1.電力消費量の削減(1%減) (KWH/売上高M¥) (月毎の目標値)	全浜松	目標値	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825	-
			実績値	2,380	2,642	2,463	2,490	2,452	2,854	1,917	2,320	2,102	2,154	2,416	2,673	2,081	△
具体的手段	1.デマンドコントローラーにて、浜松工場の電力使用量を測定・削減管理	全ライン	目標電力	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	-
		全ライン	最大電力	500.4	475.4	478.2	480.6	483.6	495.2	488.4	493.8	488.4	495.6	499.8	500.4	495.8	△
	2.電力会社による検討見直し	全ライン	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	静岡ガス 見積もり	鈴与 見積もり	日本テクノ 見積もり	-
中項目	A-2.化石燃料消費量の削減(1%減) (L/売上高M¥)	全浜松	目標値	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	-
			実績値	45.17	46.38	50.88	45.88	43.68	39.99	46.71	44.55	40.35	42.62	49.06	48.59	46.02	△
具体的手段	3.社用車ガソリン車→ハイブリッド車検討	浜松	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検討	-	-	トヨタ 見積もり	-
中項目	A-3.都市ガス消費量の削減(月毎の目標値) (m ³ /売上高M¥) (1%減)	亜鉛ライン 亜鉛ニッケルライン	目標値	223	223	223	223	223	223	223	223	223	223	223	223	223	-
			実績値	231	283	270	213	237	182	185	206	192	239	280	262	227	△
具体的手段	4.ライン乾燥機の保温および廃熱利用	〃	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中央製作所 問い合わせ	-	-	中央製作所 見積もり	△
大項目	B.廃棄物排出量削減(業者引き取り回数)	浜松	-	3回/週	3回/週	3回/週	3回/週	3回/週	3回/週	3回/週	3回/週	3回/週	3回/週	2回/週	2回/週	2回/週	-
具体的手段	5.廃プラのリサイクル(専門業者買取)	清水共同	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	業者選定	宮原	-	-	-	○
大項目	C.排水量削減(m ³ /売上高M¥)	-	-	-	65.0												-
具体的手段	6.井戸水流量計設置による使用状況の把握	-	実績	52.53	58.07	50.61	55.39	54.93	49.67	53.07	51.07	46.25	51.13	53.78	56.88	49.49	◎
大項目	D.化学物質使用量削減	-	-	-	-												-
具体的手段	7.電解剥離の活用	-	実績	-	電解剥離の活用により治具剥離での硝酸使用が無くなった。												◎
大項目	E.グリーン購入の推進	-	-	-	-												-
具体的手段	8.不用品の回収・再利用(共用品置場にて管理・自由に使用可能)	-	実績で評価	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	月初め回収	-
			実績で評価	1	0	1	2	1	0	0	2	1	2	1	0	○	
大項目	F.独自の環境目標	-	-	-	-												-
			実績値	実績で評価	調査	→	→	→	→	実施	→	→	→	→	→	→	△
売上高(M¥)		基準年度	-	460.5	18.56	30.20	34.50	36.36	36.88	33.79	37.63	36.11	54.90	55.00	46.02	40.60	-
		今年度	-	660.0	47.20	43.07	51.65	51.61	51.96	58.82	57.13	68.67	60.37	48.73	56.52	64.31	-

注3:環境活動評価表の年度末評価をまとめて記号で表記する。達成は、◎ ほぼ達成は、○ 未達は、△ 印で表記する。

エコアクション21取得後省エネ等の実績

No	どこで	何を	いつ	どうした	効果(狙い)
1	第1工場	ボイラー燃料	2009.09	転換(重油→都市ガス)	国内クレジット(静銀に)
2	清水工場	水	2010.11	市水→(井戸水をRO膜使い水道水レベル)	水道代削減
3	浜松工場 屋根	太陽光(100kw)	2013.08	取付け	月70万円→売電
4	浜松工場 屋根	スカイトップライト	2013.08	取付け	昼間の照明いらず
5	浜松工場 照明	照明(LED投光器)	2013.08	天井でなくサイドに(LED)	電気代削減
6	浜松工場 照明	照明(蛍光灯)	2013.08	LED照明	電気代削減
7	浜松工場	社用車	2013.08	プリウス	ガソリン代削減
8	浜松工場	水	2013.08	一部再生水	水道代削減
9	浜松工場	ボイラー燃料	2013.08	都市ガス採用	CO2削減
10	浜松工場 亜鉛ライン 浜松工場 亜鉛ニッケル	蒸気加熱器	2014.08	エコカンに	蒸気エネルギーを最大限利用
11	清水工場	社用車	2011.08	エコドライブ推進	ガソリン代削減
12	清水工場	文房具	2011.08	エコ商品推進 不用品の回収(1回/月)	不用品の購入を控える
13	清水工場	照明	2011.08	間引き	電気代削減
14	清水工場	照明(水銀灯)	2011.08	基本的に昼間の使用禁止	電気代削減
15	清水工場	コンプレッサー(検査室)	2011.08	吐出圧削減(0.1MPa)	電気代削減(10万/年)
16	清水工場	蒸気配管	2011.08	カバー取付け	電気代削減
17	清水工場	PC	2011.08	モニター電力低に(光度)	電気代削減(15万/年)
18	清水工場	エアコン	2011.08	設定温度決める	電気代削減
19	清水工場	自転車	2011.08	近場は自転車移動	ガソリン代削減
20	清水工場	エアコン室外機	2011.08	屋根を取り付け	電気代削減
21	清水工場	コピー用紙	2011.08	裏紙使用 カラーコピー抑制	廃棄物削減
22	清水工場	治具形状	2011.08	変更(持出削減)	廃棄物削減
23	清水工場	工場屋根	2011.08	流水	温度上昇緩和
24	清水工場	電気量	2011.08	デマンド管理 契約電力見直し	電気代削減
25	清水工場	廃棄物	2011.08	分別	廃棄物削減
26	清水工場	ボイラー	2016.11	運転時間の調整	ガス代削減
27	清水工場	めっき槽の保温・蒸発防止	2016.11	めっき槽に蓋をする	ガス代削減
28	清水・浜松工場	ppバンド・ラップ	2016.11	専門業者買取	リサイクル
29					
30					

5 環境活動の取組結果の評価(清水工場)

部門名	製造課	推進担当者:	若井	
環境活動計画の項目 注1	2016年4月～2017年3月			
電力消費量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・目標に対し41%減と大幅に達成された。 ・契約電力を超過し、基本料金が上がってしまった。			
	コメント又は是正指示(環責): ・契約電力を超過してしまった月がありました。基本料金が上がり1年間は下がりにません。全社員に電気に対する教育が必要かと思えます。デマンド管理の徹底をお願いします。			
化石燃料消費量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・目標に対し65%減と大幅に達成された。			
	コメント又は是正指示(環責): ・近場の自転車移動・トラック便を減らした効果は大きい。			
都市ガス消費量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・目標に対し削減28%と減少した。			
	コメント又は是正指示(環責): ・ボイラー1基停止させたため、使用量も減少したと考えられる。継続して行ってください。			
廃棄物の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・廃プラを買い取ってもらうことにより、処分費の削減・分別の徹底がされている。			
	コメント又は是正指示(環責): ・分別の徹底によるリサイクルを継続させてください。			
上水使用量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・井戸水の不具合により目標に対し26%上昇してしまった。			
	コメント又は是正指示(環責): ・井戸水の点検方法を明確にしてください。			
無水クロム酸使用量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・使用量が微増した。8%増 ・新規クロムラインのフル稼働による。			
	コメント又は是正指示(環責): ・分析結果をもとに、適正な使用量でお願いします。			
事務用品のグリーン調達	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・不用事務用品を回収し再利用を実施。			
	コメント又は是正指示(環責): ・継続実施して下さい。			
作業環境の改善 (レイアウト変更)	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・配置換えによる無駄な歩行の削減			
	コメント又は是正指示(環責): ・改善活動に終わりはありません。より良いレイアウトを全員で考えてください。			
印	社長承認	久慈直太郎	環境管理責任者確認サイン	古本修一

注1:部門毎又は推進担当者毎に「環境活動計画の項目」をまとめて列挙する。(付表は、部門又は担当者毎に別になる)中項目毎又は達成手段毎でも、まとめ易い項目にする

5 環境活動の取組結果の評価(浜松工場)

部門名	製造課	推進担当者:	伊藤	
環境活動計画の項目 注1	2016年4月～2017年3月			
電力消費量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・ライン増設・生産量増加で全体電気量と最大電力が増加してしまった。 目標として設定していた電力(490KW)を超えないようにデマンド管理を行う。			
	コメント又は是正指示(環責): ・各設備の電力量の調査を行い今後の管理に役立ててください。			
化石燃料消費量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): 新たな取引先増加・運送便の変更等で使用量は増加してしまった。			
	コメント又は是正指示(環責): ・運送便のルート見直しを行い、エコドライブの徹底をお願いします。			
都市ガス消費量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・夏場は目標値にほぼ達成しているが、冬場にかけて使用量が増加している。 冬場の保温等の工夫が必要である。(土日・連休時)			
	コメント又は是正指示(環責): ・保温を行い全体の使用量を下げる必要がある。 前処理・メッキ処理の蒸気配管を処理層毎の配管システムを統合することにより蒸気使用量を削減する			
廃棄物の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・廃プラをリサイクル業者に引き取ってもらい浜松工場の引き取り回数が3回/週→2回/週に減った。 費用面でも効果があったと思われる。			
	コメント又は是正指示(環責): ・分別の教育・徹底をお願いします。			
井水使用量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・生産量増加の為、全体の使用量は増加傾向である。 各ラインに流量計が付いたため、各ラインの井戸水使用量が把握できる仕組みができ毎朝、排水担当者がチェック			
	コメント又は是正指示(環責): ・各水洗工程に流量計の設置を行い水洗の必要量を設定してください。			
硝酸使用量の削減	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・電解剥離を行ったことにより治具剥離での硝酸使用は無くなった。			
	コメント又は是正指示(環責): ・継続して行ってください。			
事務用品のグリーン調達の推進	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・グリーン調達製品11アイテム購入			
	コメント又は是正指示(環責): ・継続して行ってください。			
製品置場の最適化	達成状況と今後の対応(推進担当者): ・レイアウト検討及び変更中			
	コメント又は是正指示(環責): ・継続をお願いします。無駄な歩行の削減・通路の確保をお願いします。			
印	社長承認	久慈直太郎	環境管理責任者確認サイン	和久田純男

注1;部門毎又は推進担当者毎に「環境活動計画の項目」をまとめて列挙する。(付表は、部門又は担当者毎に別になる)
中項目毎又は達成手段毎でも、まとめ易い項目にする

6 次年度の取組内容(清水工場)

環境目標・環境活動計画の項目	
大項目	A. 二酸化炭素排出削減(kg-CO2/100万個)
中項目	A-1. 電力消費量の削減(使用量KWH/生産量100万個)
具体的達成手段	1. デマンドコントローラーにて、各設備の電力使用量を測定(基準年同月比) ピーク電力の削減
中項目	A-2. 化石燃料消費量の削減(基準年同月比)(L/100万個)
具体的達成手段	2. 配送の見直し
中項目	A-3. 都市ガス消費量削減(基準年同月比)(L/100万個)
具体的達成手段	3. 50℃以上の槽の保温 ポール・蓋など
大項目	B. 廃棄物排出量削減(t/100万個)
具体的達成手段	4. 分別の徹底(ダンボール・紙・廃プラ)
大項目	C. 排水量削減
具体的達成手段	5. ライン毎に水使用量の把握(流量計設置)
大項目	D. 化学物質使用量削減
具体的達成手段	6. 錫ライン薬品使用量削減(Kg/M社生産量) (更新頻度の見直しによる液の長寿命化)
大項目	E. グリーン購入の推進
具体的達成手段	7. 不用品の回収・再利用(共用品置場にて自由に使用可能)
大項目	F. 独自の環境目標
具体的達成手段	8. 作業環境の改善 (ラインの配置に合わせ材料置き場等レイアウトの変更)
	9. 剥離場の環境整備
具体的達成手段	10. コピー・プリンターの印刷前確認(カラーコピー削減・下書きモード・明朝体推奨)

6 次年度の取組内容(浜松工場)

環境目標・環境活動計画の項目	
大項目	A. 二酸化炭素排出削減(kg-CO2/売上高M¥)
中項目	A-1. 電力消費量の削減(使用量KWH/売上高M¥)
具体的達成手段	1. デマンドコントローラーにて、各設備の電力使用量を測定(基準年同月比) ピーク電力の削減
	2. 井水式ユニットクーラー検討
中項目	A-2. 化石燃料消費量の削減(基準年同月比)(L/売上高M¥)
具体的達成手段	3. 配送ルートの見直し
中項目	A-3. 都市ガス消費量削減(基準年同月比)(L/売上高M¥)
具体的達成手段	4. 50℃以上の槽の保温 ポール・蓋など
大項目	B. 廃棄物排出量削減(業者引き取り回数)
具体的達成手段	5. 廃プラのリサイクル(専門業者買取)
大項目	C. 排水量削減
具体的達成手段	6. 流量計設置による使用状況の把握
大項目	D-1. 化学物質使用量削減
具体的達成手段	7. 更新頻度見直しによる液の長寿命化
大項目	E. グリーン購入の推進
具体的達成手段	8. 不用品の回収・再利用
大項目	F. 独自の環境目標
具体的達成手段	9. 動線を重視したレイアウト変更
	10. コピー・プリンターの印刷前確認(カラーコピー削減・下書きモード・明朝体推奨)

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無(清水工場)

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備・適用事項等	遵守状況確認 2017年5月10 日	備考(△・×に 関するコメント 等)
1	大気汚染防止法	ばい煙発生施設(法2条2項)	第1工場:ガス型小型ボイラー2基 第2工場:ガス型小型ボイラー1基	該当なし	
2	水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設(法2 ②⑦、法5 ①) 特定施設(令1、別表1、六十六)の届出 有害物質(令2) 排水基準に適合(法3①、12①、排水基準省令、別表第1) 水質測定と記録の保存(法14-1項、規9条) 事故により有害物質等の排出時応急措置及び届出(法14の2) H24.6改正水濁法に伴う点検及び記録(3年間保存)	電気めっき施設 有害物質:シアン化合物 六価クロム化合物	○	
3	特定工場における 公害防止組織の整 備に関する法律	公害防止統括者(資格不要)の届出(法3の3) 公害防止管理者(法4の3)の届出 水質関係有害物質発生施設(排水量平均1万m ³ /Dで区分) 公害防止管理者代理者(法6)の届出	電気めっき施設 有害物質:シアン化合物 六価クロム化合物 (排水量1万m ³ /D以下)	○	
4	下水道法	特定施設(法12の3、規8、9) 特定施設からの排水を下水道に排出せず、除害施設経由で公共河川に排 出している場合の下水道法の届出などは不要(下水道部下水道維持課に確 認)	第1工場:下水道(但し排水処理 施設の排出、水は公共用水 域) 第2工場:下水道なし 第3工場:下水道 特定施設な し	○	
5	浄化槽法	*新設置後水質検査(法7条令4条) 定期水質検査(法11条)年1回 保守点検(法8条)回数は令による 清掃(法9条)1回/年	第2工場:合併 30人槽	○	
6	騒音規制法	*特定施設(法2条令1条別表1)の届出 空気圧縮機・送風機(7.5kw以上) *届出(法6)	第1工場:コンプレッサー 7.5kw 1台、7.5kw以下5台 送風機7.5kw以上3台 第2工場:コンプレッサー 11kw 1台、7.5kw 2台、 7.5kw以下2台 送風機7.5kw 以上2台	○	
7	静岡市告示30号	規制遵守(法5条) 地域指定と規制値 地域指定;第4種区域規制値;昼間: 70dB、朝・夕:65dB、夜間:60dB	-	○	
8	振動規制法	特定施設;(法6、令1、別表1) 圧縮機(7.5KW以上)	第1工場:コンプレッサー 7.5kw 1台、7.5kw以下5台 送風機7.5kw以上3台 第2工場:コンプレッサー 11kw 1台、7.5kw 2台、 7.5kw以下2台 送風機7.5kw 以上2台	○	
9	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	《産業廃棄物》事業者による廃棄物の適正処理(法3条) 収集運搬及び処分の委託(法12③④) 管理表(マニフェスト伝票)の適正管理(法12条の3) 管理表に関する報告書の提出(法12条の6)	廃プラ、廃フィルター、カートリッジ、 活性炭	○	
		《特別管理産業廃棄物》(法2⑤、令2の4 別表1~3) 保管基準(法12の2、規8の13) 収集運搬及び処分の委託(法12の2③④) 管理責任者の設置(法12の2⑥⑦、規8の17)(静岡市届出不要) 帳簿の整備(法12⑩・12の2⑫ 規8の5・8の18) *特別管理産業廃棄物とは 廃油(引火点70℃以下)、廃酸(PH2.0以下)廃アルカリ(PH12.5以上) *特定有害産業廃棄物とは 以下の物質を含む廃酸廃アルカリ及び汚泥等(鉛及びその化合物、六価クロム化 合物、シアン化合物等)	廃強酸、廃クロム、廃アルカ リ、 廃酸、汚泥、スラッジ	○	
		《事業系一般廃棄物》	市の処分場へ出す廃棄物 事業系一般廃棄物・資源リサイ クル;廃新聞紙、コピー用紙、軍 手、タンボール、ビン、缶、PETな ど	○	
		廃棄物置場の管理(法12条2項、規8条)	「産業廃棄物保管場所」表示	○	
10	市産業廃棄物の適 正な処理に関する 条例(H21. 10. 1 施行)	産業廃棄物管理責任者の選任 委託業者先の実地確認 契約時、及び継続は1回/年以上	産業廃棄物全般	○	
11	土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設を廃止する場合は、土地の汚染状況を調査、報告 (法3) 但し、その土地を継続使用の場合は、「ただし書きの確認」を申請すれば免 除(規12)	電気めっき施設 第2種特定有害物質: 六価クロム化合物、 シアン化合物	当期間該当 なし	
12	消防法	静岡市火災予防条例(66条) 少量危険物の貯蔵・取扱いの届出;表示版設置 (指定数量未満、1/5以上)灯油;1KL未満200L以上)	No2工場、ストーブ用の灯油 (200L以下で使用)	少量危険物 には該当し ない	

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備・適用事項等	遵守状況確認 2017年5月10 日	備考(△・× に関するコ メント等)
13	PRTR法	第1種指定化学物質等取扱事業者(法2⑤、令3,4) (1トン/年以上、特定0.5トン/年以上、従業員21人以上) 第1種指定化学物質(令1、別表1、H21.10.01追加) 特定第1種指定化学物質(令4、ロ) 第2種指定化学物質(令2、別表2、H21.10.01追加) *第1種指定化学物質の排出量などの届出(法5②、規 5,6) *事業者は、物質を譲渡時にMSDSを提供(法14①②、MSDS省令2~6)	クロム及び3価クロム化合物 (68)、6価クロム化合物(69)、 ニッケル(231)、ニッケル化合物 (232)等 (PRTR購入量調査表参照) 新規購入時MSDSを受領し、 情報として利用	○	
14	PCB廃棄物 特別措置法	PCB含有使用済み変圧器などに適用 状況等届出書(年1回:4月~5月末まで)	高压コンデンサー30K、20K 2台	○	処理手配 済み
15	毒物及び劇物取 締法	業務上取扱者の届出(届出業者) (法22①② 令41、42、規13の12、規18、別記様式18)電気めっき業などが該 当 (非届業者も含む) 毒・劇物物の盗難・紛失・飛散等の防止措置(法11、22④) 毒・劇物の廃棄方法の基準(法15の2)	無機シアン化合物たる毒物 (青化カリ、青化第一錫)多種 の毒劇物・薬品などを使用し ている。管理方法及び廃棄に ついて順法が必要。法令薬品 別台帳参照	○	
16	エネルギーの使用の 合理化に関する法 律(省エネルギー法)	第2種特定事業者(令2)(2010.04.01から事業者ベース) エネルギー使用量(電力、石油、LNGなど)が原油換算 で1500KL以上3000KL未満/年	静岡、浜松 合計で1100KL以 下	○	該当なし
17	フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷凍機の整備時・廃棄時(法4条、法19条の3) 工程管理制度(メンテナンス:回収依頼書、委託確認書など)の実施(法19の3① ②) ----- すべての業務用冷凍・空調機器(第1種特定機器)を対象に、簡易点検を実 施(3か月に1回以上) 定期点検:エアコン7.5kw以上3年に1回以上	業務用クーラー、クーラー 業務用空調機 冷媒としてフロン使用機器 フロン使用の圧縮機 ----- 簡易点検実施	○	
18	家電リサイクル法	特定家庭用機器(エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機)(法2条令1条) 廃棄時:適切な引渡し・料金支払い(法6条)と管理票受領(法43条)	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機 ----- 廃棄時に対応	○	本年度該当 なし
19	静岡県地下水の 採取に関する条 例	条例6条 設備設置届出 揚水量届出(毎年2月末に届出) 「静岡市でも県条例が適用される」	第1工場で取水 届出平均採取量350m ³ /日 口径100mm 能力0.6m ³ /分	○	
20	労働安全衛生法 (労安法) (注意;この一 覧表では、すべ ての労安法関連 の全てをカバー していないので 対応時は法令を 再確認のこと)	衛生管理者の選任(常時50人以上の事業所) (法12条、令4条、規7) 作業環境測定(法65) (令21、別表33、一・二) 特化則関連(特化則 36①) (令21、別表6-2、有機則1二・六)有機則関連	特化則、有機則作業主任者 が必要な作業職場で測定が 必要(業者委託も可能)	○	
		特定化学物質障害予防規則(特化則) 特定化学物質作業主任者の選任(法14、令6 十八、特化則27、別表3) 管理全般(特化則27条~38条)	特化物(別表3)を製造又 は取扱う作業(除く試験研 究)で選任 記録、保存、掲示など規制 あり 「クロム酸等」の測定記録は 30年保存(特化則36) 特別管理物質:「クロム酸 等」の作業場には掲示版を (特化則38の3)	○	
		有機溶剤中毒予防規則(有機則) 有機溶剤作業主任者の選任(法14、令6 二十二、有機則19、別表6の2、規2,3) 管理と測定(有機則19条~28条)	有機溶剤(別表6の2.5%以 上)を製造又は取扱う屋内 作業場等での作業 (但し許容消費量以上が対 象で適用の除外がある有機 則19、有機則2,3条の1項) 選任、記録、掲示など規制 あり掲示;有機則24,25)	○	
		化学物質等の有害性等の通知制度(SDS通知制度) (法57の2、令18の2、別表9) *提供者は相手方にSDSを通知する (化学物質購入者がSDSを要求するのが良い) *通知されたSDSは、作業者の見やすい 場所に掲示又は備え付けること等により取扱 う労働者に周知する。(法101)	別表9(1%以上)及び別表 3の1の物質(該当物質が多 いので化学物質を購入時、 購入業者にSDSの要否を確 認するのが良い)	○	
21	悪臭防止法	静岡市告示153号 臭気指数10以下	アンモニア水	○	
22	RoHS指令 (SOC4物質) REACH規則	顧客からの要望により対応する。	-	○	

※環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果は、環境経営マニュアルに従い環境法規制等一覧表にて実施し、問題はありませんでした。(2017.05.10実施:古本)

※遵守状況: ○適切 △一部是正要 ×是正要 --当期間該当なし 又は 必要に応じて内容を記載する

※違反、訴訟等の有無は、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無(浜松工場)

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備・適用事項等	遵守状況確認 2017年5月10 日	備考(△・×に 関するコメント 等)
1	大気汚染防止法	ばい煙発生施設(法2条2項)	簡易ホイラー2基	該当なし	
2	水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設(法2 ②⑦、法5 ①) 特定施設(令1、別表1、六十六)の届出 有害物質(令2) 排水基準に適合(法3①、12①、排水基準省令、別表第1) 水質測定と記録の保存(法14-1項、規9条) 事故により有害物質等の排出時応急措置及び届出(法14の2) H24.6改正水濁法に伴う点検及び記録(3年間保存)	電気めっき施設 有害物質:六価クロム化合物	○	
3	特定工場における 公害防止組織の整 備に関する法律	公害防止統括者(資格不要)の届出(法3の3) 公害防止管理者(法4の3)の届出 水質関係有害物質発生施設(排水量平均1万m ³ /Dで区分) 公害防止管理者代理者(法6)の届出	電気めっき施設 有害物質:六価クロム化合物 (排水量1万m ³ /D以下)	○	
4	浄化槽法	*新設置後水質検査(法7条令4条) 定期水質検査(法11条) 年1回 保守点検(法8条)回数は令による 清掃(法9条)1回/年	合併 30人槽	○	
5	騒音規制法	*特定施設(法2条令1条別表1)の届出 空気圧縮機・送風機(7.5Kw以上) *届出(法6)	コンプレッサー 5.5kw、 送風機11kw以上 集塵機7.5KW	○	
6	浜松市告示	規制遵守(法5条) 地域指定と規制値 地域指定;第4種区域規制値;昼間: 70dB、朝・夕:65dB、夜間:60dB	-	○	
7	振動規制法	特定施設;(法6、令1、別表1) 圧縮機(7.5KW以上)	コンプレッサー 5.5kw、 送風機11kw以上 集塵機7.5KW 冷凍機:7.5KW	○	
8	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	《産業廃棄物》事業者による廃棄物の適正処理(法3条) 収集運搬及び処分の委託(法12③④) 管理表(マニフェスト伝票)の適正管理(法12条の3) 管理表に関する報告書の提出(法12条の6)	廃プラ、廃フィルター、カートリッジ、 活性炭、排水汚泥、スラッジ	○	
		《特別管理産業廃棄物》(法2⑤、令2の4 別表1~3) 保管基準(法12の2、規8の13) 収集運搬及び処分の委託(法12の2③④) 管理責任者の設置(法12の2⑥⑦、規8の17) 帳簿の整備(法12⑩・12の2⑫ 規8の5・8の18) *特別管理産業廃棄物とは 廃油(引火点70℃以下)、廃酸(PH2.0以下)廃アルカリ(PH12.5以上) *特定有害産業廃棄物とは 以下の物質を含む廃酸廃アルカリ及び汚泥等(鉛及びその化合物、六価クロム化合物、シアン化合物等)	廃強酸、廃クロム、廃アルカリ、 廃酸	○	
		《事業系一般廃棄物》	市の処分場へ出す廃棄物 事業系一般廃棄物・資源リサイクル;廃新聞紙、コピー用紙、軍手、ダンボール、ビン、缶、PETなど	○	
		廃棄物置場の管理(法12条2項、規8条)	「産業廃棄物保管場所」表示	○	
9	市産業廃棄物の適 正な処理に関する 条例(H21. 10. 1 施行)	産業廃棄物管理責任者の選任 委託業者先の実地確認 契約時、及び継続は1回/年以上	産業廃棄物全般	○	
10	土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設を廃止する場合は、土地の汚染状況を調査、報告 (法3) 但し、その土地を継続使用する場合は、「ただし書きの確認」を申請すれば免 除(規12)	電気めっき施設 第2種特定有害物質: 六価クロム化合物、	当期間該当 なし	
11	消防法	浜松市火災予防条例(66条) 少量危険物の貯蔵・取扱いの届出;表示版設置 (指定数量未満、1/5以上)灯油;1KL未満200L以上)	ストーブ用の灯油(200L以下で 使用)	少量危険物 には該当し ない	

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備・適用事項等	遵守状況確認 2017年5月10 日	備考(△・× に関するコ メント等)
12	PRTR法	第1種指定化学物質等取扱事業者(法2⑤、令3,4) (1トン/年以上、特定0.5トン/年以上、従業員21人以上) 第1種指定化学物質(令1、別表1、H21.10.01追加) 特定第1種指定化学物質(令4、ロ) 第2種指定化学物質(令2、別表2、H21.10.01追加) *第1種指定化学物質の排出量などの届出(法5②、規 5,6) *事業者は、物質を譲渡時にMSDSを提供(法14①②、MSDS省令2~6)	クロム及び3価クロム化合物 (68)、6価クロム化合物(69)、 ニッケル(231)、ニッケル化合物 (232)等 (PRTR購入量調査表参照) 新規購入時MSDSを受領し、 情報として利用	○	
13	毒物及び劇物取 締法	業務上取扱者の届出(届出業者) (法22①② 令41、42、規13の12、規18、別記様式18)電気めっき業などが該 当 (非届業者も含む) 毒・劇物物の盗難・紛失・飛散等の防止措置(法11、22④) 毒・劇物の廃棄方法の基準(法15の2)	毒劇物・薬品などを使用して いる。管理方法及び廃棄につ いて順法が必要。法令薬品別 台帳参照	○	
14	エネルギーの使用の 合理化に関する法 律(省エネルギー法)	第2種特定事業者(令2)(2010.04.01から事業者ベース) エネルギー使用量(電力、石油、LNGなど)が原油換算 で1500KL以上3000KL未満/年	静岡、浜松 合計で1500KL以 下	該当なし	
15	フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷凍機の整備時・廃棄時(法4条、法19条の3) 工程管理制度(メンテナンス:回収依頼書、委託確認書など)の実施(法19の3① ②) ----- すべての業務用冷凍・空調機器(第1種特定機器)を対象に、簡易点検を 実施(3か月に1回以上) 定期点検:エアコン7.5kw以上3年に1回以上	業務用クーラー、クーラー 業務用空調機 冷媒としてフロン使用機器 フロン使用の圧縮機 ----- 簡易点検実施	○	
16	家電リサイクル法	特定家庭用機器(エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機)(法2条令1条) 廃棄時:適切な引渡し・料金支払い(法6条)と管理票受領(法43条)	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機 ----- 廃棄時に対応	該当なし	
17	静岡県地下水の 採取に関する条 例	条例6条 設備設置届出 揚水量届出(毎年2月末に届出) 「浜松市でも県条例が適用される」	届出平均採取量150m ³ /日 口径40mm 能力0.2m ³ /分	○	
18	労働安全衛生法 (労安法) (注意:この一 覧表では、すべ ての労安法関連 の全てをカバー していないので 対応時は法令を 再確認のこと)	衛生管理者の選任(常時50人以上の事業所) (法12条、令4条、規7) 作業環境測定(法65) (令21、別表33、一・二) 特化則関連(特化則 36①) (令21、別表6-2、有機則1二・六)有機則関連	特化則、有機則作業主任者 が必要な作業職場で測定が 必要(業者委託も可能)	○	
		特定化学物質障害予防規則(特化則) 特定化学物質作業主任者の選任(法14、令6 十八、特化則27、別表3) 管理全般(特化則27条~38条)	特化物(別表3)を製造又 は取扱う作業(除く試験研 究)で選任 記録、保存、掲示など規制 あり 「クロム酸等」の測定記録は 30年保存(特化則36) 特別管理物質:「クロム酸 等」の作業場には掲示版を (特化則38の3)	○	
		有機溶剤中毒予防規則(有機則) 有機溶剤作業主任者の選任(法14、令6 二十二、有機則19、別表6の2、規2,3) 管理と測定(有機則19条~28条)	有機溶剤(別表6の2.5%以 上)を製造又は取扱う屋内 作業場等での作業 (但し許容消費量以上が対 象で適用の除外がある有機 則19、有機則2,3条の1項) 選任、記録、掲示など規制 あり掲示;有機則24,25)	該当なし	
		化学物質等の有害性等の通知制度(SDS通知制度) (法57の2、令18の2、別表9) *提供者は相手方にSDSを通知する (化学物質購入者がSDSを要求するのが良い) *通知されたSDSは、作業者の見やすい 場所に掲示又は備え付けること等により取扱 う労働者に周知する。(法101)	別表9(1%以上)及び別表 3の1の物質(該当物質が多 いので化学物質を購入時、 購入業者にSDSの要否を確 認するのが良い)	○	
19	悪臭防止法	浜松市告示153号 臭気指数10以下	-	○	
20	RoHS指令 (SOC4物質) REACH規制	顧客からの要望により対応する。	-	○	

※環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果は、環境経営マニュアルに従い環境法規制等一覧表にて実施し、問題はありませんでした。(2017.05.10実施:和久田)

※遵守状況: ○適切 △ 一部是正要 ×是正要 --当期間該当なし 又は 必要に応じ内容を記載する

※違反、訴訟等の有無は、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

8 代表者による全体の評価及び見直し

作成2017年5月12日
代表者:久慈 直太郎

【活動期間:2016年4月1日 ~2017年3月31日】

1. 全体評価のための個別評価(環境管理責任者による評価も可)

項目	評価
環境負荷自己チェック	・清水工場:生産数↑、電気↓、都市ガス↓、燃料↓、上水↑ ・浜松工場:生産数↑、電気↑、都市ガス↑、燃料↑、上水↑ ・浜松工場:太陽光発電能力(100KWH)による売電は実質的なCO2排出量削減に貢献している。
環境取組自己チェック (前年度との進捗比較も確認する)	・2015年度276点⇒2016年度278点(浜松工場:2015年度235点⇒2016年度:259点) ・従業員への環境に対する教育・意識向上が必要。
環境目標達成状況	・達成:4件(浜松・2件) ほぼ達成:4件(浜松・2件) 未達成:6件(浜松・7件) ・未達成項目に対するフォローアップが遅い。 ・清水:生産数量原単位、浜松:売上高原単位ベースで評価
環境活動計画の達成状況	・問題なし
環境事故・トラブルの有無	
該当環境関連法規等の遵守 状況および制定・改廃状況 訴訟・行政指導等の有無	・環境関連法規の遵守は問題なし ・法規制の最新版のチェックを実施 ・過去3年間指導なし
教育・訓練の実施状況	・作業手順書を元に訓練の実施を行っていく。 ・従業員教育(勉強会)を定期的に行う。
外部とのコミュニケーションの状況	・河川清掃 ・側溝清掃
規定類、手順書等の関連文書 および関連記録の制定改廃 の状況	・未実施の環境活動項目の見直しが必要

2. 見直しおよび変更指示

項目	評価	変更要否
環境方針	2016年6月に改訂をおこなった。	変更 <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
環境目標	清水・浜松工場のライン構成の追加・削減に伴い、 基準値の見直しを検討する。	変更 <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
環境活動計画	業務量のバランスを見て、項目数の絞込みの検討も考慮する。 法規制改訂を考慮しての活動も取り入れる	変更 <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
環境経営マニュアル(システム)	変更なし	変更 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否
その他	内部監査による指摘 B判定 12件 C判定 3件 是正済	変更 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否

3. 全体の評価(今年度の評価と次年度への指示を記載する)

清水工場では、井戸水の不具合により水道使用量が増加した月があった。
不具合に気が付くのが遅れ、修繕にも時間を要してしまった。
今後は、自社による定期点検方法を確立し、短期間での復旧工事ができるように備えたい。
また、次年度は新ラインが夏に稼働となり、人事異動も頻繁に行われるため、各部署の環境活動が
損なわれることなく、引き継ぎを実施していくことが重要である。
浜松工場は、目標に対しての未達項目があるので全社員協力のもと次年度の活動を行っていきたい。
無駄を無くし、独自の環境目標を達成していくことが重要課題である。